

受動喫煙防止対策の実施状況について





1 「やまがた受動喫煙防止宣言」の普及

(1) イベント等における普及啓発

県、市町村、関係団体、民間企業が実施するイベント、会議及び研修会等の様々な機会を捉え「やまがた受動喫煙防止宣言」を周知し、宣言と受動喫煙防止の普及啓発を図った。

区 分	開催回数	対象人数	内容の例示
イベント	34 回	22,400 人	日本一さくらんぼ祭り、日本一芋煮会、モンテホームゲーム
メインテーマを「たばこ」とした職員出前講座	16 回	473 人	美容業生活衛生同業組合 建設会社等民間企業
メインテーマを「健康」等たばこ以外とした職員出前講座等、各種説明会や会議等	75 回	5,348 人	山形県 P T A 連合会研修大会、 民間企業、各種組合や団体等からの依頼による出前講座

【主なイベント等】

開催日 イベント名	場所（イベント主催者） 対 象 者 数	内 容 ◆受動喫煙防止推進大使
5月14日（土） 健康まつり	看護協会会館（県看護協会） 約100人	ブース（ポスター展示、パンフレット・ティッシュ等配布、健康相談、アンケート）
		
5月31日（火） ショッピングモールでの キャンペーン	イオン三川（山形県） 約400人	ブース（健康相談、パンフレット配布、肺年齢測定、クイズ）
		

<p>6月4日(土) お祭り歯っぴい</p>	<p>ゆめりあ(新庄地区歯科医師会) 約400人</p>	<p>ブース(ポスター展示、パンフレット・ティッシュ配布)</p>
		
<p>6月18日(土) 日本一さくらんぼ祭り</p>	<p>七日町商店街(実行委員会) 約1,000人</p>	<p>ステージPR(けむけむイヤイヤ体操、クイズ)、ブース(パンフレット・ティッシュ配布等) ◆きてけろくん、ペロリン、ディーオ、はながたベニちゃん、じゅっきーくん</p>
		 
<p>8月21日(日) モンテディオ山形(対岐阜)</p>	<p>県運動公園(榊モンテディオ山形) 約4,000人</p>	<p>パンフレット・ティッシュ配布</p>
		
<p>9月18日(日) 日本一のいも煮会</p>	<p>山形市馬見ヶ崎河川敷(日本一の芋煮会フィスティバル協議会) 約1,100人</p>	<p>ブース(ポスター展示、パンフレット・ティッシュ等配布、アンケート、バルーンアート、クイズ)</p>
		
<p>10月2日(日) 山形ピンクリボンフェスタ2016</p>	<p>霞城セントラル1階アトリウム(山形ピンクリボン運動実行委員会) 約600人</p>	<p>ブース(ポスター展示、パンフレット・ティッシュ等配布、アンケート、バルーンアート、クイズ)</p>
		

<p>10月23日(日) 山形県農林水産祭</p>	<p>県運動公園(山形県農林水産祭実施協議会)約600人</p>	<p>パンフレット・ティッシュ配布</p>
		<p>ステージPR(けむけむイヤイヤ体操)ブース(ポスター展示、パンフレット・ティッシュ等配布、アンケート、バルーンアート) ◆きてけろくん、じゅっきーくん、ディーオ</p>
<p>11月5日(土)～6日(日) やまがた健康フェア2016</p>	<p>山形ビッグウイング(やまがた健康フェア実行委員会・山形新聞社)約10,000人</p>	<p>ブース(ポスター展示、パンフレット・ティッシュ等配布、アンケート、バルーンアート)</p>
		<p>山形ビッグウイング(やまがた環境展2016実行委員会)約300人</p>
<p>11月19日(土)～20日(日) 環境展</p>	<p>山形ビッグウイング(やまがた環境展2016実行委員会)約300人</p>	<p>ブース(ポスター展示、パンフレット・ティッシュ等配布、アンケート、クイズ、バルーンアート)</p>
		

(2) ホームページ等を活用した普及啓発

- ・県ホームページ掲載(通年)・フェイスブック掲載(5月)
- ・ラジオ(5月20日～6月6日、県政ラジオ・地域FMラジオ)
- ・受動喫煙防止宣言の記事広告掲載(5月31日、山形新聞)

(3) 病院及び福祉施設向けメッセージの作成・配布

敷地内禁煙の病院や建物内禁煙の福祉施設から取組んだ契機や実施内容、これから取り組む施設へのメッセージ等について情報収集し、施設側に届けた。

(4) その他の普及啓発

やまがた社会貢献基金を活用したNPO法人山形県喫煙問題研究会の「やまがた受動喫煙防止宣言コンテスト」を支援し、宣言と受動喫煙防止の普及啓発を図った。大賞・優秀賞等合わせて16の宣言が選定された。

(5) やまがた受動喫煙防止宣言の提出状況

(単位：件数)

施設	H28. 4. 1 現在	H29. 4. 1 現在	差引増加数
個人	12	337	325
各種団体	30	33	3
飲食店	35	45	10
宿泊施設	5	5	-
理・美容室	4	8	4
事業所	69	84	15
金融機関	68	138	70
幼稚園・保育所	107	114	7
医療機関	52	57	5
薬局	4	43	39
福祉関係施設	24	50	26
学校	64	64	-
市町村	375	427	52
国	13	13	-
県	268	268	-
合計	1, 130	1, 686	556

2 施設等における受動喫煙防止対策の推進

(1) 受動喫煙防止対策説明会の開催

食品衛生協会主催の食品衛生責任者講習会において、飲食店等の施設管理者に対し受動喫煙防止対策について説明を行った。

- ① 期間：平成28年4月26日～3月16日（計43回）
- ② 内容：受動喫煙防止対策の効果的な取り組みの説明、やまがた受動喫煙防止宣言の周知及び禁煙ステッカーの説明・配布など
- ③ 参加者：飲食店食品衛生責任者 計2,606名

(2) 巡回訪問による受動喫煙防止啓発活動の実施

保健所職員が、民間施設（飲食店等）を巡回訪問し、受動喫煙防止対策について啓発を行った。

- ① 期間：平成28年5月23日～平成28年12月8日
- ② 訪問先：飲食店、事業所、理・美容店、医療機関、宿泊施設、入浴施設、農業協同組合、商工会等
- ③ 訪問件数：328件

(3) 個別訪問等による受動喫煙防止対策実施の依頼

健康づくりプロジェクト推進室職員が、関係機関・団体を訪問等により、受動喫煙防止対策の実施を依頼した。

- ① 期間：平成 28 年 6 月 7 日～平成 28 年 9 月 13 日
- ② 依頼先：コンビニエンスストア、公共交通機関、高齢者及び障がい者施設等
- ③ 件数：6 件

(4) 受動喫煙防止対策を講じた病院及び市町村名の公表

禁煙週間 (5/31～6/6) に合わせて、敷地内禁煙を実施した 51 病院名 (対象 68 病院) 及び敷地内禁煙又は建物内禁煙の実施率 100%となった 17 市町村名 (対象 35 市町村) を公表した。

3 子どもや妊産婦等を受動喫煙から守る対策の推進

県内全幼稚園、保育園、児童館、認定こども園、認可外保育施設へ全園児数分 (約 36,000 部) の受動喫煙防止普及啓発用リーフレットを 9 月に送付した。

【県内幼稚園等への送付リーフレット】



【小学校での出前講座】



保健所職員等が学校などで未成年の喫煙防止等に関する出前講座を実施したほか、学校に向いて啓発物品を配布しながら受動喫煙防止について説明を行った。

学校における出前講座 11 回 1,245 人 たばこに関する相談 33 件

また、庄内保健所では『庄内地域サポートプログラム～子育て期～ (妊娠時から乳幼児期)』を平成 28 年 3 月に作成し、市町・医療機関が連携した禁煙支援体制の強化に取り組んでいる。他の保健所でも市町村における母子健康手帳交付から妊産婦・乳幼児健診等において受動喫煙防止に関する取組みが行われるよう支援した。

4 受動喫煙防止対策実施状況調査

- | | | |
|----------------------|-------|--------|
| ○市町村及び県公共施設 | 3 月依頼 | 4 月回収 |
| ○高齢者及び障害者施設 | 8 月依頼 | 9 月回収 |
| ○J R 及び山形鉄道駅・道の駅 | 9 月依頼 | 10 月回収 |
| ○県政アンケートによる受動喫煙機会の調査 | 7 月調査 | 12 月公表 |

受動喫煙防止対策（敷地内禁煙）に取り組んでいる病院からのメッセージ

～県民みんなで取り組もう！「きれいな空気で健康長寿日本一」～

**県では『やまがた受動喫煙防止宣言』を制定し、
医療機関の敷地内禁煙実施率 100%をめざしています。**

敷地内禁煙を実施している精神科単科病院の取組み状況調査を平成 29 年 1 月に実施し、その中で、これから敷地内禁煙に取り組む施設へのメッセージをいただきました。目標達成に向け、御協力をお願いします。

1 これから敷地内禁煙に取り組む病院へのメッセージ

- はじめる前は、いろいろと心配することがありましたが、実施してみると、特に問題なくすすめることができました。まずはやってみることだと思います。
- 私どもは完全禁煙を目指します。実施してみるとわかりますが、副流煙やたばこの臭いのない環境は、医療現場はもちろん、労働環境には必ず必要です。
- 全職員で話し合いや勉強会を開き取り組んでいくことをお勧めします。分煙を考えるより一気に禁煙にした方が良い結果が出る様な気がします。
- 敷地内禁煙にスパッと徹底したほうが分かってもらいやすい。世の中も病院は敷地内禁煙という流れになっていることを患者は知っています。病院が敷地内禁煙にすることは、患者の健康を守るためにであることを、丁寧に患者の思いを聞きながら患者に寄り添っていけば分かってもらえるので頑張ってください。
- 禁煙に対する意識の高い医師、看護部長、関係職員によるプロジェクトチームを立ち上げ対応しました。幹部職員の理解、医師の強い関与、現場の高い意欲があって実現したと思います。いったん病院のルールとして実施すれば特に大きな問題も無く定着します。

2 きっかけや敷地内禁煙に向けて取り組んできた内容

(1) 敷地内禁煙にしたきっかけ

- 患者や職員の健康増進のため。
- 将来的に医療機関は敷地内禁煙にしなければならないから。
- 禁煙外来の設立、病院機能評価合審にむけた病院長の方針。

(2) 敷地内禁煙に向けて取り組んできたこと

実施前に心配されたこと	実施に向けて取った対応	実施後の反応
入院患者の減少	健康づくり等を1年間かけて啓発	入院患者の減少は無し
喫煙患者が精神的に不安定になること	禁煙教育の実施	問題なし
患者の理解 喫煙習慣のある職員の就労中の対策 敷地外での喫煙する場所の検討	喫煙状況の定期的調査 禁煙学習会の実施 禁煙外来での積極的治療 売店でのたばこ販売中止	実施後の問題は予想以上に少なく、大きなトラブルもない
マナー違反	ポスター等の掲示 職員による巡回(週1) 外来駐車場の見守り	当初マナー違反も見受けられたが、現在はほぼ違反者は見受けられない
隠れ喫煙の火の不始末による火災	外出や外泊の際に喫煙するよう指導	隠して持参する場合もある。

上記の詳しい内容

【実施に向けて取った対応】

① 周知

- 実施の半年前から全面禁煙について告知し、3か月前から「あと〇日」とカウントダウンし実行した。△月から全面禁煙となりますというチラシを施設内に掲示した。

② 勉強会等の開催

- 勉強会の開催や、患者のミーティングで説明した。また、喫煙する患者一人ひとりに説明し個人目標を設定し、喫煙本数を減らすなど禁煙に向けて支援した。4～5回の勉強会には、喫煙する利用者を中心に、非喫煙の利用者も参加してもらった。勉強会は肺の写真などを見せて、喫煙の害の恐ろしさ、たばこの価格についても含めて講義した。
- 病棟で喫煙する患者と職員が共に喫煙の害について勉強会を重ねた。理解した上で、どうしたら禁煙できるかを考え本数を徐々に減らすなど、一人ひとり目標を持って臨んだ。一本減らすごとに代替え品(飴など)でイライラを紛らわす方法や約束事を決めた。禁煙日まであと何日と日めくりカレンダーの作成やカウントダウンを行い意識付けした。

【実施後の反応】

① 利用者

- 当初隠れ喫煙が時折あったが、患者ミーティング等で火災の恐ろしさや健康づくりについて説明し現在は無くなった。
- 敷地外の道路側溝に吸殻を捨てる人が多く、病院で側溝掃除をしたこともある。携帯灰皿を持参するよう助言し、携帯灰皿の吸い殻は病院内で処分した。

- 入院患者で、喫煙のための外出に付添いが必要な方は、看護師が同行している。
- 入院の必要な患者が、たばこを吸えないならと入院を拒むケースもあったが、説得に応じて入院すると、トラブルなく入院生活ができる。
- 外出時喫煙出来ることでスムーズに移行できた。
- 入院患者は大きな問題もなく禁煙することが出来たが、外来患者は病院の敷地外や車内で喫煙していることもあり、吸殻が落ちていることもあった。喫煙している所を見たら協力をお願いしているが特に苦情などはなし。
- 入院する前に入院中は禁煙してもらうことを理解してもらっている。入院患者より外来の患者の方が守れないことが多い。

② 職員

- 当初、白衣のまま敷地外にいき喫煙していたが、白衣で行くことは禁止にした。我慢できない人は着替えて外に行っている。

3 敷地内禁煙にしたことによるメリット・デメリット

(1) メリット

- クリーンな施設イメージができた。施設自体に清潔感があり、雰囲気改善された。
- 建物内の空気がきれいになり受動喫煙の心配がなく、また臭いに悩まされることがなくなった。
- たばこの臭いがなくなり、気持ちよく過ごすことが出来る。
- 受動喫煙の被害がなくなった。
- 公共の場においてもマナーが守れるようになった。
- 病棟内では吸殻の処理・ライターの管理など面倒がなくなった。
- 禁煙する職員が増えた。禁煙した方からは「咳が出なくなった。風邪をひかなくなった。ご飯がおいしくなった。」などの声が寄せられている。
- 喫煙したいがために早く仕事を終わらせ残業が少なくなる。喫煙者、非喫煙者の平等な労働が期待される。
- たばこ火の不始末による火災の心配がいらぬ。
- 建物がたばこの煙で汚れなくなった。
- 設備投資費が軽減できる。
- 禁煙外来の導入が見込まれる。

(2) デメリット

- 特になし
- 当初、隠れ喫煙などのトラブルがあったが、一つ一つ丁寧に説明していったところ、今はない。
- 喫煙習慣が抜けない方は外出時に無断で持ち込み、喫煙する方がいる。
- 隠れ喫煙が発生する。敷地内禁煙実施の事前準備や事後対応等の業務量が増加した。
- デイケアセンターでは喫煙出来なくなったことにより、多少参加率が下がった。

受動喫煙防止対策（建物内禁煙）に取り組んでいる施設からのメッセージ

～県民みんなで行き組もう！「きれいな空気で健康長寿日本一」～

**県では『やまがた受動喫煙防止宣言』を制定し、
福祉施設等の公共性の高い施設の建物内禁煙実施率 100%を
めざしています。**

建物内禁煙を実施している福祉施設（養護老人ホーム及び障害者支援施設）の取組み状況調査を平成 29 年 1 月に実施し、これから建物内禁煙に取り組む施設へのメッセージをいただきました。目標達成に向け、御協力をお願いします。

1 これから建物内禁煙に取り組む施設へのメッセージ

- 喫煙する入所者本人の健康管理はもちろんだが、施設は共同生活の場なので、受動喫煙を防ぐためにも職員、入所者、家族の協力を得て勧めましょう。お互いに気持ち良く過ごせます。
- 福祉施設における受動喫煙防止対策は、避けようのない流れだと思います。
- 福祉施設の禁煙は当たり前になるよう、全施設が前向きに取り組んでいければいい。
- 喫煙する人、しない人、各々の意見を取り入れて受動喫煙防止に努めてください。

2 きっかけや建物内禁煙に向けて取り組んできた内容

(1) 建物内禁煙にしたきっかけ

- 利用者や職員の健康のため。
- 施設内委員会にて、産業医より指導があった。
- 施設長の喫煙に対する意識が高かった。
- 利用者に喫煙者がいなく、職員のみが喫煙している状況になり、喫煙室の確保ができず、廊下に集塵機を置いて対応していたが、廊下に煙がこもり、受動喫煙になっている状態であったため。

(2) 建物内禁煙に向けた取組みについて

実施前に心配されたこと	実施に向けて取った対応	実施後の反応
建物内禁煙のルールを守れるか。	建物外に喫煙所を設置した。	好評であり、不満等はない。
喫煙者から理解が得られるか。	説明会の開催 通知や掲示による周知 喫煙者への禁煙治療勧奨	実施まで時間をかけて準備したことでスムーズに移行できた。
利用者に喫煙者がいなかったこと、建物外の喫煙場所も以前からあったため、スムーズに移行できた。	喫煙者が職員のみであったため、職員会議で集塵機撤去等について事前に周知した。	特に問題なく経過している。

3 建物内禁煙にしたことによるメリット・デメリット

(1) メリット

- 建物内での受動喫煙がなくなり、利用者及び職員の健康につながる。
- 喫煙による火災が防げる。
- 禁煙中の方が喫煙者を見ることが再喫煙の原因となっていたが、その恐れなくなった。
- 喫煙者と非喫煙者の相互理解と協力が高まって、お互いに気持ち良く過ごすことができる。

(2) デメリット

- 喫煙場所までの距離が遠くなった。壁がないため、季節による寒暖の影響を受けやすい。靴の履き替えなど面倒になった。
- 喫煙所が寒い。喫煙所までの移動の際の転倒防止等の安全対策が必要である。
- ショートステイ利用の喫煙者の対応には個別に考慮していく必要がある。
- 以前喫煙習慣があり、医師に禁煙を勧められた方や、本人希望で禁煙を希望する方は禁煙外来を受診するよう支援しているものの、習慣が抜けない方は外出時に無断で持参し、喫煙する方がいる。

庄内地域禁煙サポートプログラム

～ 子育て期 ～

(妊娠時から乳幼児期)

平成28年3月
山形県庄内保健所

妊娠判明から3歳児健診までのアプローチ一覧表

◎:このチャンス逃してはいけない、アプローチ(情報収集・情報提供・自己効力感アップ・禁煙のすすめ)に力を入れて!

○:自己効力感アップ支援または、困りごとに対する支援

△:ステージを見極め、ステージに合わせた支援

□:必要に応じ、情報提供のみ

アプローチの機会および関係機関名	妊娠初期(16~27週)		妊娠中期(16~27週)	妊娠中~後期(16~39週)	出産1か月以内	出産1~2か月後		乳児期		幼児期	
	妊娠届け出・母子手帳交付時(市町)	産婦人科受診時(初回妊婦健診)	パパママ学級参加時(市町・産婦人科)	産婦人科受診時	産婦人科(入院時)・小児科受診時	産婦人科・小児科受診時	新生児訪問(市町)	3~4か月健診(市町)	6~7・9~10か月健診(市町)	1.6歳健診(市町)	3歳健診(市町)
面接者の役割(支援者の役割)	現在の喫煙状況等の聞き取り アセスメント 支援	現在の喫煙状況等の聞き取り アセスメント 支援	現在の喫煙状況等の聞き取り アセスメント 支援	現在の喫煙状況等の聞き取り アセスメント 支援	喫煙歴等記録の確認(入院中) 入院中の禁煙を褒める アセスメント 支援	現在の喫煙状況等の聞き取り アセスメント 支援	(訪問前に父母の喫煙歴等記録の確認) 現在の喫煙状況等の聞き取り アセスメント 支援	(健診前に喫煙歴等記録の確認) 現在の喫煙状況等の聞き取り アセスメント 支援	(健診前に喫煙歴等記録の確認) 現在の喫煙状況等の聞き取り アセスメント 支援	(健診前に喫煙歴等記録の確認) 現在の喫煙状況等の聞き取り アセスメント 支援	(健診前に喫煙歴等記録の確認) 現在の喫煙状況等の聞き取り アセスメント 支援
医師の介入	<ul style="list-style-type: none"> 全員にタバコについて話題にしよう 喫煙者にはきっぱりやめることを勧めよう 		禁煙を継続している妊婦に褒め言葉をかけてもらう	必要に応じて、小児科医より指導してもらう							
個別アプローチ	喫煙あり	◎	◎	△□*	△□*	△□*	◎	△	△	△	△
	禁煙した	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎
	夫喫煙	◎	◎	△□*	△□*	△□*	◎	○	○	○	○
	非喫煙	◎	◎				◎				
使用する媒体(使う媒体を決めておく)											
集団アプローチ			<ul style="list-style-type: none"> 母乳と喫煙について 受動喫煙の害について 							子どもへの受動喫煙の害・タバコの事故予防の話	

*:妊婦健診時の対応は各所属で可能な対応とするが、目標として「△:ステージを見極め、ステージに合わせた支援」(乳幼児健診と同等)をめざす。